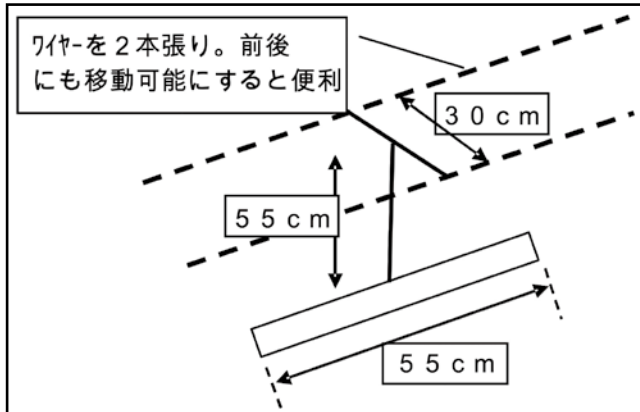


## (1) 設置の基本

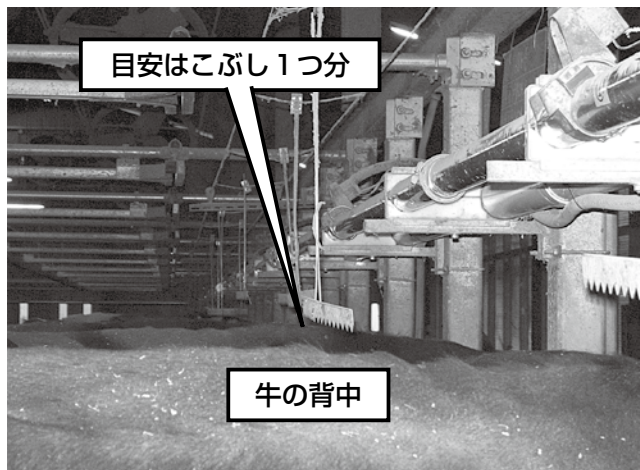
設置の基本は、牛が排尿・排糞時に背を丸め(高くして)行なうことをきちんと利用することです。そして、個体毎の調整をきちんと行なうことです。



## (2) 設置のポイント

注意点は、牛が後退することで糞尿溝に尿と糞が落ちることから、『牛が背を丸めて排尿姿勢を取った時にカウトレーナーに触れ、一歩後退できるところに付ける』ことです。

① **設置位置**：き甲部からあばら骨のつけ根(最後のあばら骨をたどって背骨に着いたところ)の間、後から1/3くらいのところに、こぶし1つ分くらい上に設置します。



② **前後調整を可能に**：産次が変わると体高も変わり体長も変わります。高さに加えて前後位置の調節が**非常に重要**です。前図や写真のように2本の電極ワイヤー等を利用して、高さだけでなく前後位置の調節を行なうことができるように設置すると便利です。

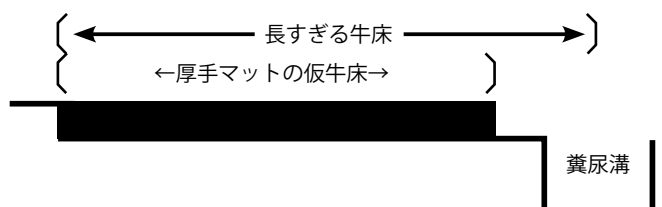
また、背の丸め方には個体差があり、愛牛との良い関係を保つためにも個体毎に調節が必要です。



③ **幅の広い牛床**：牛が斜めになってカウトレーナーを避けることがあります。そのため、1牛床に2基のカウトレーナー設置が必要になった例もあります。

④ **牛の立ち位置**：前後で制御を考える必要があります。通常の後ろ側の制御(排尿・排糞時)はカウトレーナーで可能となります。前側(採食や起立時等、前に突込んだ状況)の制御は、ネックレール等での制御となってしまう場合があります。180cmを超える長さの牛床では牛が小さい場合、カウトレーナーの前側に逃げて排尿・排糞を行い、余計に牛床が汚れることがあります。長すぎる牛床では設置効果が薄いため、厚い牛床マット等を使って、その牛にあった仮の牛床を造る必要があります。

### 図 その牛にあった牛床を整える



## 3 快適な住まいを提供～人も牛も良い関係を～

「牛に電撃」と聞くと、カウトレーナーに抵抗感を覚える方も多くいらっしゃいます。不適切な設置は、牛に大きな苦痛を毎日与えることとなりますが、適切に設置された場合は、乾いた快適な寝床を牛に提供することとなります。乳質向上や作業性の向上にもつながります。

また、「トリカルネット」は換気対策だけでなく、鳥獣対策等の衛生管理にも効果的です。カウコンフォートを意識した酪農施設の優良導入事例から、自らの酪農経営に取り入れられてはいかでしょうか。カウトレーナーは広酪の購買重点品目の一つです。ぜひとも、導入を検討されますことをお奨めします。

事件は現場で起きています



## カウコンフォートを支える酪農設備 「トリカルネット」と「カウトレーナー」

広酪事業推進課 係長 大島達夫

2月末に岡山県蒜山の(財)中国四国酪農大学校を訪問しました。校舎に隣接する第1牧場は平成18年に建て直されて色々な新しい設備が導入されていました。(関連記事2頁～3頁)

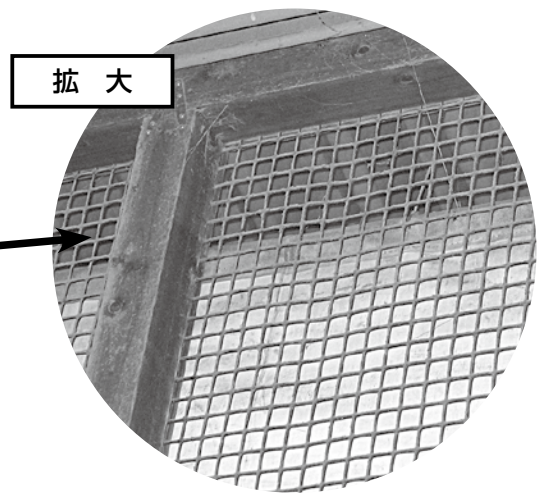
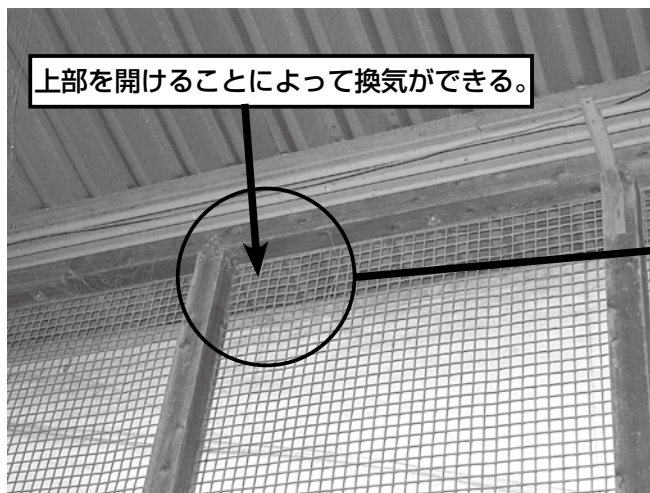
今回は、ここに設置されていました「トリカルネット」と「カウトレーナー」を紹介します。

### 1 換気と鳥獣対策もできる「トリカルネット」

これは数社から販売されていますが、合成樹脂(ポリエチレンやポリプロピレン、EVAやPVC、合成ゴム等)で成形されたネットです。価格も低廉で、加工も容易、対候性もあって、牛舎への鳥獣進入の防止や防風カーテンのばたつき防止など様々な利用されています。「カーテンだけでは屋根からの落雪が寄りかかった場合に壊れたり、破れたりすることから、トリカルネット設置は、内側で支えになって大きな被害になら

なかった」という体験談も聞きます。

なお、前述の大学校の第1牧場では、蒜山という寒冷な立地にもかかわらず防風カーテンの上部が開口されており、最低限の換気維持や牛舎上部の湿気排出に役立っています。昨今、鳥獣害による衛生対策の必要性は非常に注目されており、夏場の換気の妨げにもなっていません。サシバエネットの装着時の支えにもなり、有効に利用できるものと思います。



### 2 「カウトレーナー」にもう一度チャレンジを

最近注目を浴びている設備に『カウトレーナー』があります。昔は電気牧柵用の設備がそのまま流用され、牛に対する衝撃が大きすぎて、後の搾乳や飼養管理上の馴致に支障が生じるとして敬遠され、設置位置に対する理解もあまり進んでいなかったため、効果が得られず、次第にすたれる結果となってしまいました。

しかし、近年、カウコンフォートによる牛舎改造や乳質向上から、再び「カウトレーナー」が見直され、新たに導入設置を行う牧場が現れてきました。

設置がきちんと行われると牛は本当に綺麗になり、電撃に牛が怯える様なこともありません。